

平成 19 年度防除事業の実施結果について

1 調査捕獲

(1) 目的

本事業の大きな目的である全頭捕獲は、生息実態、習性に合わせた方法で進める必要があるが、その生息実態を把握するために、サルに電波発信機を装着するための捕獲を小型檻を用いて実施した。

(2) 結果

当年度中に小型檻により 23 頭捕獲した。この内の 5 頭に電波発信機を装着するとともに、大型檻により捕獲したものの内、11 頭にも装着した。

【所属群別電波発信機装着個体の状況】(平成 19 年度末)

所 属 群	装着個体数	♂	♀
ミヤコ群	18	6	12
オタキ群	9	2	7
その他	3	2	1
計	30	10	20

2 調査

(1) 目的

全頭捕獲に必要な当地域のアカゲザルの生息状況等を把握するために、各群の行動域、生息数、食餌植物等を調査した。

(2) 群追跡調査

ラジオ・テレメトリー法により、2007 年 4 月から 2008 年 3 月まで、上半期は週に 1 回、下半期は 2 週に 1 回、群追跡調査を実施した。

ラジオ・テレメトリー法などでサルを発見した時に、その個体数、採食物などを記録した。

(3) 結果

① 群数

追跡調査の結果、図 1～3 のとおり「ミヤコ群」と「オタキ群」の 2 群の存在を確定した。この 2 群の行動域は重複が大きく、「ミヤコ群」の行動域のほとんどが、「オタキ群」の行動域に含まれている。

なお、「オタキ群」は、400 頭を超える大きい群であり、行動範囲も広く、分派が頻繁に行われているようである。

また、この 2 群の東側地域に不明集団があり、複数の集団あるいは群れが含まれている可能性が高いため、集中防除区域における群数は、2 群 + α の可能性があるとした。

② 生息数

「オタキ群」については、2007 年 11 月 8 日に道を渡る群れのカウント機会に遭遇し、数え落としを考慮すると 482 頭前後 (470 から 540 頭) と推定できた。「ミヤコ群」についても、同年 10 月 11 日に同様にカウント機会に遭遇し、58 頭 + α をカウントしたが、その後の捕獲の実績を考慮すると 2008 年 3 月末現在で 40～50 頭と推

定される。これらの調査結果を総合すると、2008年3月末現在の「ミヤコ群」と「オタキ群」を合わせた推定個体数は、およそ500から600頭であると推測される。

現況では、「ミヤコ群」と「オタキ群」の2群以外の群れ数は不明であるが、東側地域で目撃されている集団が、「オタキ群」とは別群であるとすれば、合わせるとおよそ600から700頭になる。（これらの中間値から19年度末の推定生息数を600頭前後とする。）

③ 食餌植物

現地調査で確認された採食物は、以下のとおりであった。

(自然植物)

アケビの果実、カクレミノの葉柄・果実、サクラの葉・新芽の髓、マテバシイの果実、ヤマモモの果実、ミズキの果実、エノキの果実、クスノキの果実、イヌビワの果実、カラスザンショウの果実・新芽の茎、ヤマハゼの果実、クワの果実、ツバキの花、落葉広葉樹の冬芽、ヤマノイモの種子、タケ、マダケのタケノコ、メダケの茎、シノベタケ(ヤダケ)、ササ、ササノコ、ハナミョウガの茎

(農作物)

カキの果実、ミカンの果実、ナバナの花・茎、ダイコン、ソラマメの茎
イネの2番穂

(その他)

昆虫(カマキリの卵塊等)

④ ハナレザルの行動

2006年6月に電波発信機を装着したオスザル(ミヤコ群)が、2007年2月に放逐場所から約37km離れた富津市のニホンザルの群(T-I群)において、受信及び目撃がされた。

なお、過去にも1996年～1998年に旧白浜町(現南房総市)で電波発信機を装着したサル(2頭)が、今回目撃された地域において観察されている。

3 捕獲

平成15年度以前に設置した大型檻1基と平成18年度に設置した大型檻1基により、捕獲を実施した。

大型檻にサルを誘引するための餌付けには、スイカ、落花生、カボチャ、サツマイモ、温州ミカンを用いた。

大型檻による実捕獲数(再捕獲数を除く)は、105頭で、調査捕獲と併せて128頭を捕獲し、電波発信機を装着し放逐した16頭を除く112頭については、安楽殺処分を行った。

なお、当年度中に大型檻を新たに2基設置した。

【大型檻による捕獲状況】

捕 獲 日	捕獲頭数	内再捕獲頭数	実捕獲数
8月31日(金)	23頭	頭	23頭
10月18日(木)	16		16
11月30日(金)	32	7	25
12月15日(土)	24	7	17
1月15日(火)	24	13	11
2月6日(水)	16	8	8
2月20日(水)	15	10	5
計	150	45	105

※ 再捕獲頭数は、電波発信機装着済みサルを再捕獲したものの